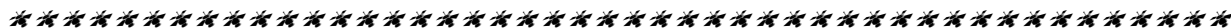




とつか
2021年2月会報 第316号

- 2020 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
- スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let's enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let's help and share each other.”
- 2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言

★一日も早く…★ 鈴木 ひろ子



コロナ騒ぎで終わった昨年、新しい年明けです。それぞれ夢や希望で一杯のはずが、その気持ちも大渋滞、日ごとに感染者が増すばかり、さし当たりワクチンを待つしかないのかな…、それも副作用など不安で一杯。経済活動を維持しつつ、感染を拡げないためにはどうすれば…。取りあえずお買い物は地元で…と皆さんそれぞれ良かれと思うことを実行して封じ込めに努力するしか…？ワクチンと共に治療薬もコレだ！というのが早く出来てくれればと願うばかり…。日本でもかなり良いところまで結果を出している研究施設があるとか…。でも、かなりの時間が掛かるとの事、静かに見守るしかありません…。好きな旅行などにも行けないし、せめて何か楽しい時間と思い、朝風呂に入ったり、時間を変えて多摩川べりを散歩してみたり、音楽を聴いてみたり…。日々、少しの楽しみを探しているのですが、引きこもりも時間を無視してルーズな生活が出来てもいいかなと思う自分がいて、危ないかな…。早く自由になりたいですよ…。皆さまと一日も早くお会いできるようにすることを心より願っております。

(今、私たちが 日ごと思っていることを

ズリ… 書いていただきました。

鈴木ひろ子さん、ありがとうございました。)

◎今月の聖句◎

互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなた方を赦して下さったように、あなたがたも同じようにしなさい。 -

—コロサイの信徒への手紙3章13節—

赦しのない処に良い人間関係は生まれません。人は付き合い合えば付き合いほど 憤りとか苦い思いが生まれます。神はお互いに忍耐をもって赦し合いなさいと教えられます。お互いに忍耐をもったコミュニケーションが必要なのです。

強調月間 TOF

TOFはTime of fast「断食の時」、つまり世界の飢餓に苦しむ人々への支援のために、例会時などに食事抜きで、その金額相当分を国際に献金する事業を言い、一方、FFというのもあり、こちらは知人・友人に声を掛けて行う献金のこと、TOFが国際交流事業で集められたお金は国際へ…。一方、FFは区の地域奉仕事業として区の方に…。区では、TOFは、@1,300円以上FFは、@500円以上の献金を要請しております。(ロースター7ページ参照) ……という次第ですが、コロナ禍の今、対面での会合が出来ない現在、何らかの方策を考えなければなりませんね…。

会員数	1月出席者数	出席率	ファン 他	B (円)	F (g)	B (g)	F (g)	CS・TOF・ A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メン	12	メン	0	0%							
メネット	8	メネット	0								
		ゲストら	0								
計	20	合計	0								

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

新春随想 1

皆さん、「土地家屋調査士」をご存知でしょうか…？
ワイズなどのボランティア活動をしていても、その仲間
がどんな仕事をしているのか…、意外とご存知ない方が
多いのです。そこで今回は、いい機会ですので、本欄を
お借りして、私の職業に初めて触れてみたいと思います。

神奈川県内に900名前後の会員がいて、土地・建物の
分筆・登記や建物新築時の測量・登記などを行っておりま
す。不思議なご縁で、加藤さんの父上や金沢八景クラブの
峯尾さんの父上も同業者でした。私の父も昭和25年頃か
ら大船で開業しておりました。

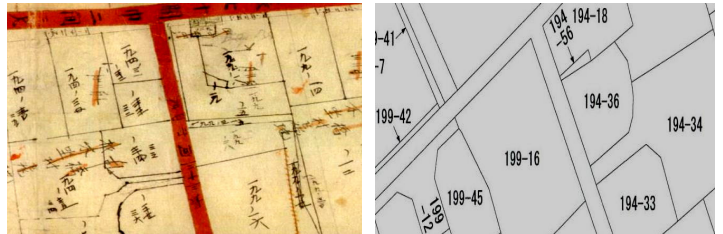
さて、具体的には建物を新築・増築・取壊しの時に、
所有者からの依頼で関係官庁と現場を調査測量し、管轄
する法務局へ登記申請をいたします。

次に土地ですが、これは実務的にも難しい事が多く、
依頼者からの依頼で、関係官庁等を調査し、境界立会を
するのですが、「境界」という単語は、大方の方はご存じ
でも、「筆界」という単語をご存知でしょうか…？

「筆界」とは明治初期に実施された地租改正事業の際、
全国的に1筆ごとに地押丈量（測量）をして地図を作り、
通し番号(地番)を付し1筆ごとに面積を計算したもので、
明治6～14年頃までに作成されたこの絵図(野取絵図)が

☆杭を残して…☆

明治20～22年頃に再調査が行われ、地押調査図となり、
同22年に土地台帳規則が制定され、地図の正本は税務署、
副本は市町村役場に保管され、その後、台帳事務が登記所に
移管され、この地図の事を「公図」と呼ぶようになり、昭和
35年に土地台帳制度が廃止され、不動産登記法に基づく登
記簿と土地台帳の一元化作業により、登記簿に一本化されま
したが、公図がそのまま「旧土地台帳付属地図」として現
在も活用され1筆の筆境(ふでさかい)として「筆界」があり、
私たちの調査士法第一条には土地の筆界を明らかにする業務
の専門家…とあるのです。この公図を基にした筆界と所有者
の考えている境界が異なる場合に問題が発生し、解決に労力
を要することになるのです。この立会が終れば測量器や計算機
の進歩により、分筆・地積更生登記等を申請し、一件落着と
なるのです。皆さん、隣接地所有者とトラブルにならぬよう境界標
(不動性・明確性・永続性ある)を設置し、「杭を残して悔いを
残さず」を心掛けてください。(写真：左が旧・右が新公図)



若木 一美

新春随想 II



新しい年が明けた。今年はコロナ渦中
でのスタート。いろいろと思うことがあ
るし、薄い霧がかかったような心持ちで
もある。しかし気分を新たにすることも
大事。例年のように妻と初日の出の小ド
ライブに出かけた。夜明け前に家を出て
海に向かい、ちょうど由比ガ浜近辺に来た頃に鎌倉の海、
逗子の山越しに日の出となる。日の出を眺めるため路肩
に駐車する車も多いが、我々は迷惑にならないようノン・
ストップでそのまま逗子、葉山に向い、御用邸前で折り返
して家に帰るのが恒例のパターン。予想と違い、今年は例年
以上に車が多く、渋滞も見られた。



だからこそ、佳き事を願う人々の心の表れか…。

幸いなことに、当日はすっきりとよく晴れて、富士が
美しかった。皆、幸せな気分になったろう。

さて、今年はどうのような年になるのだろう。我々を取
り巻く環境は大きく変わった。例えば人と直接会う機会
は減り、代替手段としてオンラインの活用が進んだ。

☆より充実した生活を願って☆

直接会えないと嘆くだけでなく、そこに新たな価値を見出
したい。私が、YMCA 日本語学校のボランティアとして
知り合ったフィリピンの方がいる。現在、横浜でカソリック
教会の神父をやっている。今は会うことはできないが、
昨年末に彼が司式するクリスマスミサの中継を You Tube
で体験することが出来た。英語のため分からないところも
多かったが、心温まるものだった。オンライン があれば
こそそのミサ初体験だった。

他にも遠方の旧友との会合とか、講演会等の視聴など、
従来、時間とお金を使わないと実現できなかったことが、
オンラインで手軽に出来るようになった。こういう利点は
前向きにとらえ、コロナ後もリアルと併用していきたい。

そう、オンラインだけでなくリアルも両方あってこそ、
より充実した生活になる。そういう日が早く来ることを願
って我慢の生活を続けつつ、その日のために今出来ること
をしていこう。



【特別寄稿】

☆IBCにも恵まれますように！☆

IBC 国際事業主任・元区理事 利根川 恵子 (川越クラブ) 横浜とつかクラブのブリテン1月号に強調月間にちなんでIBC/DBCの記事がありました。国際IBC 事業主任としてその記事に注目したのですが、「IBCには恵まれないもの」という下りを見て、これは放ってはおけないと思いました。

現在、世界で51か国1002クラブが、東日本区では29クラブがIBCを締結しています。相互訪問を含む活発な交流からメールやカードの交換程度のもので内容は様々ですが、昨年、コロナ禍でマスクが手に入らない時期に、台南クラブから奈良クラブと御殿場クラブにマスクが送られてくるなど、心温まる交流もあります。

私は国際IBC 事業主任として2年目になりますが、昨年に比べ、今年度はIBC 締結の動きが活発になっています。昨年は1年間で9件でしたが、今年は上半期ですでに6件の締結があり、今後締結が見込まれる案件も3~4件あります。これは、コロナ禍でビデオ会議が日常的になり、外国のワイズとも簡単に交流ができるようになったことが要因の一つのようです。ワイズ100周年を記念して、ワイズ運動発祥の地、トレド・セントラル・クラブが、各地域の最初のクラブとIBCを締結しようとしています。これもZOOMで世界の6か国くらいを結んでの会議が簡単にできるようになったから実現したものです。また、北九州クラブは、ネパール・ルンビニ・クラブと毎月ZOOM例会を重ね、5月にオンライン締結式を行う運びとなりました。我がクラブも、昨年10月以来、IBCとZOOMで定期的に例会を持つようになりました。

IBC 交流にとって、言葉の壁が懸念されますが、東日本区のZOOMには通訳機能が追加されており、どなたか通訳をお願いできれば、交流も気軽にできるようになりました。どのようなクラブと交流したいなどご希望をご教示いただければ、候補クラブをご紹介できるかもしれません。できることはお手伝いいたしますので、IBCにも恵まれますよう祈念しております。

(利根川様、お忙しい中 貴重なご寄稿を賜り有り難うございました。)

アンジュ通信

横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ 相馬 良文



皆さん、こんにちは… アンジュでは、年末に「お楽しみランチ」を作りました。今回は、「お客様の気持ちを考える」ことをテーマに取り組みました。

和食・洋食・中華、肉・魚・野菜、ご飯・麺・パンなど好みのヒントを基にランチを選びプレゼントをしました。お客様のことを考え、喜ぶ顔を想像しながら選ばれたランチは格別でした。このプログラムでは、食の経験に大きな差があることが分りました。生活を豊かにする娯楽と食に新たな課題を見出すことができました。感冒予防のため余興やビンゴ大会は中止しましたが、楽しいひと時となりました。

☆地域の皆さまに支えられて☆ 加藤 和男



舞岡地区センターは1998年5月に開館し、地域の皆様に支えられて今年で24年目を迎えます。2016年の4月より横浜YMCAが指定管理者として管理・運営しています。



豊かな自然に恵まれた舞岡地区は、近くに舞岡公園などがあり、市内各地の幼児や小学生の自然体験活動に活用され、市民の皆さんが自然や農業に触れ合う中で、優れた田園景観を守り続けております。

舞岡地区センターは湘南とつかYMCAをはじめ、近隣のYMCA各拠点と連携しながら、親子体操や親子英語、コグニサイズ(下、左写真)などYMCAの事業のノウハウを活かしたプログラムを積極的に地域に向けて展開しています。また豊かな自然に恵まれた舞岡地区の特性を活用し、舞岡公園へのウォーキングをはじめ、舞岡公園にて年間を通して家族で田んぼ体験をする「舞岡こめこめクラブ」を開催しています(下、右写真)。

地域にある交流拠点として、単に施設運営をするだけでなく、地域行事などにも積極的に参加し、地域との日常的な関係づくりを心掛けています。町内にある舞岡柏尾地域ケアプラザと連携した「認知症サポーター養成講座」や、柏尾地区社会福祉協議会と協力して実施する「まいちく・みんなの食堂」(子ども食堂)など、地域に寄り添う取り組みとして大切にしています。

開館24年目を迎え、設備や備品の老朽化といった課題を抱えてはいますが、舞岡という特色のある地域の地区センターとして、これからも「したい何かが見つかり、誰かとつながる、私が良くなる、かけがえのない場所」となるよう、また舞岡の魅力を発信していくような働きができるように、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

今後とも宜しく願いいたします。(舞岡駅より徒歩4分)



新春随想Ⅱ ‘懐かしのスクリーン’から 加藤 利榮

前号の「…今で60本ほどに」の中からベスト10を選定してみました。

- ①舞踏会の手帖 > 37年制作・L.ジューヴェ・144分
- ②駅馬車 > 39年制作・J.ウェイン・99分
- ③西部魂 > 41年制作・R.ヤング・94分
- ④カサブランカ > 42年制作・H.ボガード・94分
- ⑤汚名 > 46年制作・C.グラント・101分
- ⑥エデンの東 > 55年制作・J.ディーン・115分
- ⑦慕情 > 55年制作・W.ホールデン・102分
- ⑧鉄道員 > 56年制作・P.ジェルミ・118分
- ⑨大いなる西部 > 58年制作・G.ペック・166分
- ⑩ティファニーで朝食を > 61年制作・A.ヘップバーン・115分



☆YMCA だより☆

☆初優勝!☆ クラブ担当主事 瀬戸 俊孝

昨年11月に行われた第23回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン2020の結果報告が公表されました。

今回のチャリティーランでは各地でそれぞれ各人が走り、タイムを自己申告でエントリーする…、という今までの考えと異例の大会となりました。もしかして、今後は、こ

方法がスタンダードになるかもしれませんね…。全体で、一般・幼児チーム合せて68チームの参加がありました。湘南とつかYMCAでは4チームが参加、募金額は28万377円が集まりました。この募金は、障がいのある子どもたちへの支援金に充てられます。そして、結果は湘南とつかYMCAは一般コースで1位と7位に入賞することが出来ました。1位のチームは、我がとつかワイズメンズクラブがサポートしたチームです。この場を借りて、ワイズの皆さんを始め、多くの方々をはじめ、募金へのご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。‘YMCA だより’では、

この支援を継続的なものとするため、来年以降も支援の輪が広がることを願っております。



☆今月の歳時記から☆

‘立春 りっしゅん’ と ‘春一番 はいちばん’

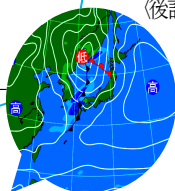
立春、節分の翌日で、2月4日ごろに当たる。暦の上でようやく春が来た…という思い、まだまだ寒さは厳しいが、さすがに、日は一日々々と長くなり、コロナの世の中ながら、野には草木が芽吹いてくる。「春立つ」ともいう。

寝ぐゝろやいづちともなく春は来ぬ 蕪 村
落葉焚いて春立つ庭や知恩院 虚 子

次に‘春一番’、立春以後、初めて吹く強い南風を指す。もと壱岐の漁師が春になって最初に吹く南風をいったといわれるが、最近では新聞紙上にも使われ、俳句にも詠まれるようになった。2月も中旬を過ぎると、低気圧が日本海側を通過して発達し、これに向かって太平洋側から強い南風が吹き込む。この頃からいよいよ春の近づいた暖かさが感じられるようになる。

春一番吹けり小屋出てピエロ付つ 杜子男
春一番のぼった坂を駆け下る じゅんこ

—午—



☆2月・3月のこよみ☆

- 2/11(祝) 横浜YMCA 会員大会：オンライン・10:00
- 2/16(火) 第2例会：休止
- 2/24(水) 第3回BAPY委員会：関内中央YMCA・18:30
- 3/5(金) BAPYチャリティーゴルフ大会・戸塚カントリー
- 3/16(火) 第2例会：～検討中～

～Happy Birthday～

- 瀬戸 俊孝さん 2月7日
- 川津 幸子さん 2月7日
- 加藤 利榮さん 2月17日
- 吉原 和子さん 2月24日

【掲示板】

会 長

- ◎ 年賀切手を宜しく…。(3等当り番号)

通信費の節減につながります。

60・58・50

お問い合わせ等は、書記まで…。

- ◎ 年が明けて間もないので「新春随想」記も…

ア 今号は、いつもの例会報告に代え、このような新春随想… 欄を設けてみました。

イ 上の‘こよみ’にもあるように、クラブの会合は、当分の間、中止させていただきます。

ウ おって、再開の折には、瀬戸担当主事を通じて、ご連絡差し上げます。それまで満を持して…。

エ ZOOM・オンラインによる会合も差し控えます。

- ◎ 「新春随想Ⅲ」について～この項は加藤さんから～

3ページの「懐かしのスクリーン…」は、前号ご寄稿の木村利人先生からのリクエストによるものです。

- ◎ 次期のクラブ・キャビネットについて

ア 先月1月号にもちょっと書きましたが、私はこの7月から湘南・沖繩部の部長に就任が予定されております。

イ それと、これも7月以降の話になりますが、現在のとつかクラブの陣容は、そのまま来期もお願いしたいと思います。

ウ 皆さんご承知のように、新型コロナウイルスのため、今期のクラブ活動はほとんど止ったまま推移しています。そして、区の方にも、その陣容を報告しなければならない時期が来ております。

エ その辺の事情をご理解いただき、この7月以降も私を含め「現状維持」で参りたいと考えております。

オ ご賢察のうえ、お認めいただければ助かります。なお、ご意見・ご感想等がありましたら、ご連絡いただければ幸いです。 ☎ 090・3314・4370

(後記)

寒の最中ですが、ブリテンの灯は…。

～ Change! 2022 ～

(T/K)